

困難についてのマルクス主義者の捉え方

ヴェ・ザサーリッチは、事情を知らずに、解党派の言葉をくりかえしている。問題の時期に困難であったこと、それ以前よりも困難であったことは、議論の余地がない。だが、マルクス主義者の活動はつねに「困難」であり、そこで彼らが自由主義者とちがうのは、まさに困難なことを不可能だと言わない点なのである。自由主義者は、自分が困難な活動を放棄していることをかくそうとして、困難な活動を不可能だと称する。活動が困難であるばあい、マルクス主義者は、その困難を克服するために、すぐれた分子をいっそう固く結束させるようつとめないわけにはいかないのである。

第19巻P422『ヴェ・ザサーリッチはどのようにして解党主義をほうむるか』
『プロスヴェシチューニエ』第9号、1913年9月